



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



令和5年4月28日
横浜市立上白根小学校
【5月号】



やさしいかかわり かみしらねっ子

校長 小嶋 一喜

新年度が始まり、1か月が経ちました。4月のやさしいかかわり かみしらねっ子を紹介します。

2年生が教室から2列に並んで廊下を静かに歩いて移動していました。5年生の前を通りかかったとき、「きれいに並んで静かに移動できているね。」と声をかけると、5年生の教室から拍手が聞こえてきました。5年生が2年生の行動を認めている姿でした。

朝、学校の中に行くことがいやだなと思い、正門のところどとまってしまった子がいました。気持ちを聞いてもなかなか答えが返ってきません。そこに、同じ学年の子どもが近寄ってきました。「いっしょに行こう」と声をかけました。2人は、並んでゆっくりと歩くペースを合わせながら坂を上っていきました。何か話しかけている様子はないように見えたが、寄り添って支えているように感じました。

風の強かった日、地域にお住まい方からこんな電話をいただきました。『歩いていたときに、ベビーカーが倒れてしまいました。そのときに、中学年くらいの男の子と女の子がすぐかけよってベビーカーを起こし、「大丈夫ですか。けがはありませんか。」と、声をかけてくれました。子どもが擦り傷をしていたので、絆創膏をはって手当てもしてくれました。やさしい子どもたちの様子を伝えたくて、電話しました。』

うれしい話なので、朝会で全校に伝えました。「これからも、やさしさがあふれる温かいまちに、一緒にしていきましょう。」と話すと、一人ひとりの子どもたちと目が合い、「わかったよ」「ぼくも、するよ」「わたしも」と言っているように感じました。

保護者の皆様、地域の皆様、学校の外での温かいかかわりがありましたら、いつでもお知らせしてください。子どもたちに伝えて、広げていきたいと思えます。